

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2012年4月10日設定）	
運用方針	オーストラリア債券マザーファンド受益証券への投資を通じて豪ドル建ての債券に実質的な投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主要運用対象	ベビーファンド	オーストラリア債券マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	豪ドル建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーファンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。なお、第2計算期末までの間は、収益の分配は行いません。	

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。  
 ※公募株式投資信託は税法上、「NISA（少額投資非課税制度）およびジュニアNISA（未成年者少額投資非課税制度）」の適用対象です。  
 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

## 運用報告書（全体版）

### Navio オーストラリア債券ファンド



第84期（決算日：2019年4月18日）  
 第85期（決算日：2019年5月20日）  
 第86期（決算日：2019年6月18日）  
 第87期（決算日：2019年7月18日）  
 第88期（決算日：2019年8月19日）  
 第89期（決算日：2019年9月18日）



#### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
 さて、お手持ちの「Navio オーストラリア債券ファンド」は、去る9月18日に第89期の決算を行いましたので、法令に基づいて第84期～第89期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。  
 今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



### 三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号  
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客様専用フリーダイヤル **0120-151034**  
 （受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客様の取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

## 本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

## ○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			(参考指数) FTSE世界国債 インデックスオーストラリア		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	(分配落)	税 分 配	み 金 騰 落	期 中 騰 落	期 中 騰 落			
	円	円	%	(円ベース)	%	%	%	百万円
60期(2017年4月18日)	10,928	15	△2.9	622.48	△3.2	96.0	—	261
61期(2017年5月18日)	10,860	15	△0.5	623.88	0.2	97.5	—	273
62期(2017年6月19日)	11,214	15	3.4	642.01	2.9	96.5	—	282
63期(2017年7月18日)	11,410	15	1.9	662.19	3.1	96.7	—	276
64期(2017年8月18日)	11,311	15	△0.7	658.09	△0.6	93.6	—	284
65期(2017年9月19日)	11,520	15	2.0	667.40	1.4	95.5	—	290
66期(2017年10月18日)	11,425	15	△0.7	663.30	△0.6	96.3	—	288
67期(2017年11月20日)	11,138	15	△2.4	647.58	△2.4	97.4	—	280
68期(2017年12月18日)	11,324	15	1.8	660.31	2.0	96.8	—	286
69期(2018年1月18日)	11,476	15	1.5	669.60	1.4	96.9	—	287
70期(2018年2月19日)	10,866	15	△5.2	634.73	△5.2	97.7	—	274
71期(2018年3月19日)	10,694	15	△1.4	628.93	△0.9	95.7	—	274
72期(2018年4月18日)	10,820	15	1.3	635.80	1.1	95.8	—	278
73期(2018年5月18日)	10,766	15	△0.4	633.39	△0.4	96.5	—	277
74期(2018年6月18日)	10,728	15	△0.2	635.80	0.4	96.7	—	267
75期(2018年7月18日)	10,915	15	1.9	646.93	1.7	96.9	—	280
76期(2018年8月20日)	10,641	15	△2.4	629.33	△2.7	96.6	—	275
77期(2018年9月18日)	10,508	15	△1.1	628.01	△0.2	96.5	—	277
78期(2018年10月18日)	10,483	15	△0.1	622.29	△0.9	96.6	—	277
79期(2018年11月19日)	10,770	15	2.9	644.33	3.5	97.5	—	285
80期(2018年12月18日)	10,722	15	△0.3	644.69	0.1	95.4	—	285
81期(2019年1月18日)	10,517	15	△1.8	628.15	△2.6	96.3	—	283
82期(2019年2月18日)	10,678	15	1.7	642.14	2.2	97.6	—	291
83期(2019年3月18日)	10,756	15	0.9	651.01	1.4	97.5	—	294
84期(2019年4月18日)	10,940	15	1.9	664.75	2.1	96.3	—	297
85期(2019年5月20日)	10,580	15	△3.2	638.89	△3.9	97.8	—	288
86期(2019年6月18日)	10,520	15	△0.4	640.59	0.3	97.8	—	286
87期(2019年7月18日)	10,675	15	1.6	652.26	1.8	97.7	—	294
88期(2019年8月19日)	10,543	15	△1.1	642.83	△1.4	97.8	—	290
89期(2019年9月18日)	10,642	15	1.1	651.41	1.3	98.2	—	292

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックス オーストラリア (円ベース) です。

各国の国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、各国国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年月日	基準価額		(参考指数) F T S E 世界国債 インデックス オーストラリア (円ベース)		債券組入比率	債券先物比率
		騰落率	騰落率	騰落率	騰落率		
第84期	(期首) 2019年3月18日	円 10,756	% —	651.01	% —	97.5	% —
	3月末	10,866	1.0	654.26	0.5	98.0	—
	(期末) 2019年4月18日	10,955	1.9	664.75	2.1	96.3	—
第85期	(期首) 2019年4月18日	10,940	—	664.75	—	96.3	—
	4月末	10,798	△1.3	653.27	△1.7	96.5	—
	(期末) 2019年5月20日	10,595	△3.2	638.89	△3.9	97.8	—
第86期	(期首) 2019年5月20日	10,580	—	638.89	—	97.8	—
	5月末	10,568	△0.1	644.80	0.9	97.6	—
	(期末) 2019年6月18日	10,535	△0.4	640.59	0.3	97.8	—
第87期	(期首) 2019年6月18日	10,520	—	640.59	—	97.8	—
	6月末	10,702	1.7	651.44	1.7	97.7	—
	(期末) 2019年7月18日	10,690	1.6	652.26	1.8	97.7	—
第88期	(期首) 2019年7月18日	10,675	—	652.26	—	97.7	—
	7月末	10,667	△0.1	651.42	△0.1	98.0	—
	(期末) 2019年8月19日	10,558	△1.1	642.83	△1.4	97.8	—
第89期	(期首) 2019年8月19日	10,543	—	642.83	—	97.8	—
	8月末	10,452	△0.9	638.80	△0.6	97.8	—
	(期末) 2019年9月18日	10,657	1.1	651.41	1.3	98.2	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み合わせるので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

# 運用経過

第84期～第89期：2019年3月19日～2019年9月18日

## ▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

### 基準価額等の推移



第 84 期 首	10,756円
第 89 期 末	10,642円
既払分配金	90円
騰 落 率	-0.2%

(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

**基準価額の動き**

基準価額は当作成期首に比べ0.2%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

**> 基準価額の主な変動要因****上昇要因**

豪州金利が低下したことに加え、債券の利子収益を享受したことなどが基準価額の上昇要因となりました。

**下落要因**

豪ドルが対円で下落したことなどが基準価額の下落要因となりました。

第84期～第89期：2019年3月19日～2019年9月18日

## 投資環境について

### ▶ 債券市況

**豪州金利は低下しました。**

豪州の失業率が豪州連邦準備銀行（RBA）の見通しより高い水準で推移したことや、インフレ率が低迷していることを背景に、RBAが利下げを実施したことなどから、豪州金利は低下しました。

### ▶ 為替市況

**豪ドルは対円で下落しました。**

RBAの利下げを受け豪州金利が低下し、本邦との金利差が縮小したことなどから、豪ドルは対円で下落しました。

## 当該投資信託のポートフォリオについて

### ▶ N a v i o オーストラリア債券ファンド

オーストラリア債券マザーファンド受益証券への投資を通じて豪ドル建ての債券を高位に組み入れた運用を行いました。

### ▶ オーストラリア債券マザーファンド

豪ドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、当作成期を通じて、債券現物の組入比率は高位を維持しました。

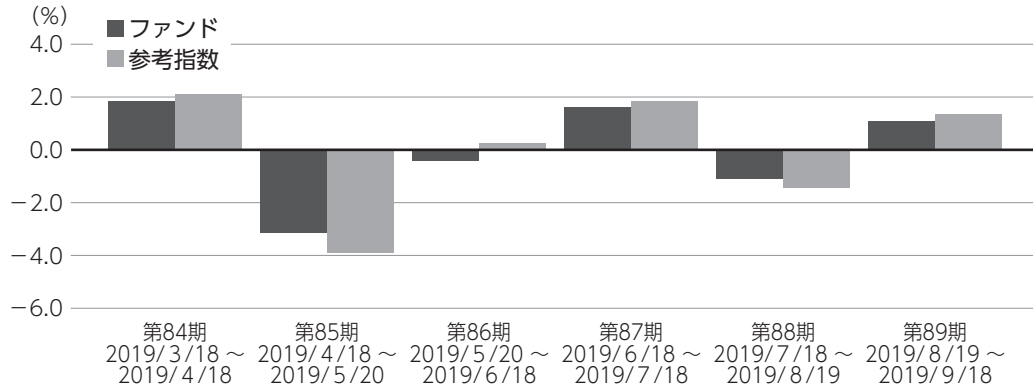
州政府債や国際機関債を一部組み入れたものの、流動性などを勘案し、引き続き国債中心のポートフォリオを維持しました。

ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、豪州経済の減速やインフレ率の低迷を背景に、RBAが利下げなど緩和的な金融政策を実施すると判断し、参考指数比中立から長めでコントロールしました。

第84期～第89期：2019/3/19～2019/9/18

## 当該投資信託のベンチマークとの差異について

### 基準価額と参考指数の対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。上記のグラフは当ファンド（ベビーファンド）の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。

参考指数はF T S E 世界国債インデックス オーストラリア（円ベース）です。

## 分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

## 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第84期 2019年3月19日~ 2019年4月18日	第85期 2019年4月19日~ 2019年5月20日	第86期 2019年5月21日~ 2019年6月18日	第87期 2019年6月19日~ 2019年7月18日	第88期 2019年7月19日~ 2019年8月19日	第89期 2019年8月20日~ 2019年9月18日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 (0.137%)	15 (0.142%)	15 (0.142%)	15 (0.140%)	15 (0.142%)	15 (0.141%)
当期の収益	15	15	14	15	15	15
当期の収益以外	-	-	0	-	-	-
翌期繰越分配対象額	3,716	3,717	3,717	3,726	3,727	3,735

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

### ▶ N a v i o オーストラリア債券ファンド

オーストラリア債券マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

### ▶ オーストラリア債券マザーファンド組入比率

安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを維持する方針です。

### 種別構成

当方は国債中心の運用とする方針です。

### デュレーション

豪州の今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。



2019年3月19日～2019年9月18日

## 1万口当たりの費用明細

項目	第84期～第89期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	64	0.598	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(31)	(0.288)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(31)	(0.288)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.022)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	4	0.033	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(3)	(0.027)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.004)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	68	0.631	

作成期中の平均基準価額は、10,655円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

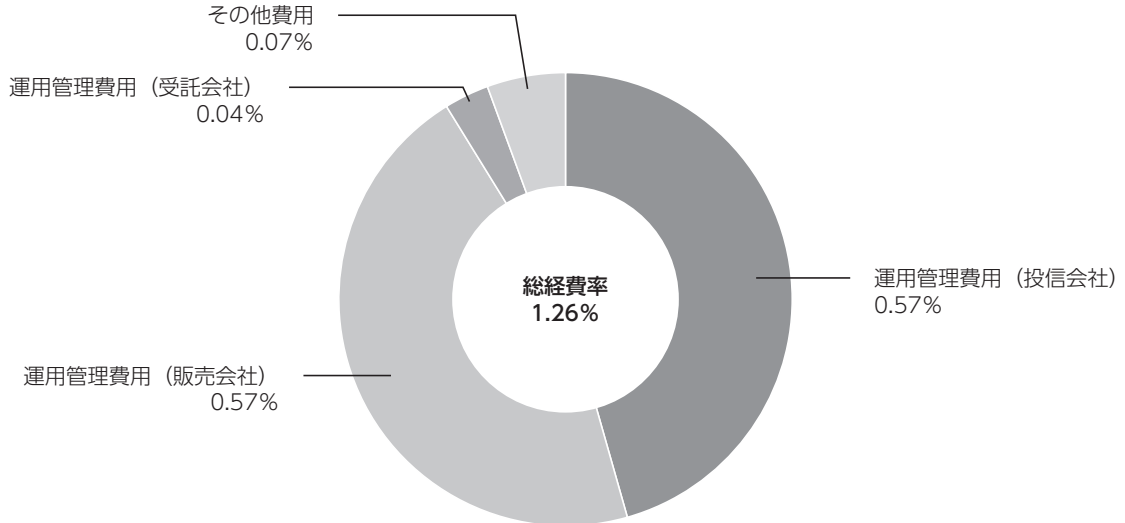
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## (参考情報)

### ■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.26%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2019年3月19日～2019年9月18日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第84期～第89期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
オーストラリア債券マザーファンド	千口 6,140	千円 7,955	千口 8,299	千円 10,827

## ○利害関係人との取引状況等

(2019年3月19日～2019年9月18日)

## 利害関係人との取引状況

&lt;N a v i o オーストラリア債券ファンド&gt;

該当事項はございません。

&lt;オーストラリア債券マザーファンド&gt;

区 分	第84期～第89期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$		
為替直物取引	百万円 3	百万円 —	—	百万円 6	百万円 0.71439	— 11.9

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とはモルガン・スタンレーMUF G証券です。

## ○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2019年3月19日～2019年9月18日)

作成期首残高(元本)	当作成期設定元本	当作成期解約元本	作成期末残高(元本)	取引の理由
百万円 200	百万円 —	百万円 —	百万円 200	当初設定時における取得

## ○組入資産の明細

(2019年9月18日現在)

## 親投資信託残高

銘柄	第83期末		第89期末	
	口数	千口	口数	千口
オーストラリア債券マザーファンド	225,592		223,433	291,625

## ○投資信託財産の構成

(2019年9月18日現在)

項目	第89期末	
	評価額	比率
オーストラリア債券マザーファンド	291,625千円	99.1%
コール・ローン等、その他	2,769	0.9
投資信託財産総額	294,394	100.0

(注) オーストラリア債券マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(292,042千円)の投資信託財産総額(293,438千円)に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=74.18円		
--------------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	第84期末	第85期末	第86期末	第87期末	第88期末	第89期末
	2019年4月18日現在	2019年5月20日現在	2019年6月18日現在	2019年7月18日現在	2019年8月19日現在	2019年9月18日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	297,871,402	288,809,449	287,303,209	295,019,635	291,241,497	294,394,006
コール・ローン等	993,135	1,067,432	949,645	977,894	972,206	959,903
オーストラリア債券マザーファンド(評価額)	296,285,151	287,415,264	285,938,970	293,589,176	289,843,561	291,625,633
未収入金	593,116	326,753	414,594	452,565	425,730	1,808,470
(B) 負債	853,984	712,353	681,469	701,033	717,346	2,078,203
未払収益分配金	407,240	408,462	408,694	413,565	413,360	412,027
未払解約金	148,262	14	9	214	—	1,382,480
未払信託報酬	297,359	302,731	271,742	286,173	302,840	282,627
未払利息	1	1	1	1	1	1
その他未払費用	1,122	1,145	1,023	1,080	1,145	1,068
(C) 純資産総額(A-B)	297,017,418	288,097,096	286,621,740	294,318,602	290,524,151	292,315,803
元本	271,493,524	272,308,046	272,463,137	275,710,368	275,573,348	274,685,294
次期繰越損益金	25,523,894	15,789,050	14,158,603	18,608,234	14,950,803	17,630,509
(D) 受益権総口数	271,493,524口	272,308,046口	272,463,137口	275,710,368口	275,573,348口	274,685,294口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,940円	10,580円	10,520円	10,675円	10,543円	10,642円

## ○損益の状況

項 目	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
	2019年3月19日～ 2019年4月18日	2019年4月19日～ 2019年5月20日	2019年5月21日～ 2019年6月18日	2019年6月19日～ 2019年7月18日	2019年7月19日～ 2019年8月19日	2019年8月20日～ 2019年9月18日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 32	△ 35	△ 27	△ 42	△ 33	△ 30
支払利息	△ 32	△ 35	△ 27	△ 42	△ 33	△ 30
(B) 有価証券売買損益	5,691,898	△ 9,056,604	△ 961,253	4,941,316	△ 2,898,631	3,427,676
売買益	5,754,096	6,178	3,360	4,966,762	31,869	3,548,687
売買損	△ 62,198	△ 9,062,782	△ 964,613	△ 25,446	△ 2,930,500	△ 121,011
(C) 信託報酬等	△ 298,481	△ 303,876	△ 272,765	△ 287,253	△ 303,985	△ 283,695
(D) 当期損益金 (A + B + C)	5,393,385	△ 9,360,515	△ 1,234,045	4,654,021	△ 3,202,649	3,143,951
(E) 前期繰越損益金	5,096,380	10,058,065	288,082	△ 1,350,666	2,869,862	△ 742,416
(F) 追加信託差損益金	15,441,369	15,499,962	15,513,260	15,718,444	15,696,950	15,641,001
(配当等相当額)	( 41,420,063)	( 41,868,961)	( 42,136,090)	( 43,518,935)	( 43,880,034)	( 43,845,922)
(売買損益相当額)	(△25,978,694)	(△26,368,999)	(△26,622,830)	(△27,800,491)	(△28,183,084)	(△28,204,921)
(G) 計 (D + E + F)	25,931,134	16,197,512	14,567,297	19,021,799	15,364,163	18,042,536
(H) 収益分配金	△ 407,240	△ 408,462	△ 408,694	△ 413,565	△ 413,360	△ 412,027
次期繰越損益金 (G + H)	25,523,894	15,789,050	14,158,603	18,608,234	14,950,803	17,630,509
追加信託差損益金	15,441,369	15,499,962	15,513,260	15,718,444	15,696,950	15,641,001
(配当等相当額)	( 41,421,984)	( 41,871,796)	( 42,137,476)	( 43,522,773)	( 43,882,703)	( 43,846,446)
(売買損益相当額)	(△25,980,615)	(△26,371,834)	(△26,624,216)	(△27,804,329)	(△28,185,753)	(△28,205,445)
分配準備積立金	59,476,644	59,361,032	59,143,200	59,224,359	58,834,284	58,760,271
繰越損益金	△49,394,119	△59,071,944	△60,497,857	△56,334,569	△59,580,431	△56,770,763

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## &lt;注記事項&gt;

- ①作成期首（前作成期末）元本額 273,350,074円  
 作成期中追加設定元本額 10,027,586円  
 作成期中一部解約元本額 8,692,366円  
 また、1口当たり純資産額は、作成期末1.0642円です。

## ②分配金の計算過程

項 目	2019年3月19日～ 2019年4月18日	2019年4月19日～ 2019年5月20日	2019年5月21日～ 2019年6月18日	2019年6月19日～ 2019年7月18日	2019年7月19日～ 2019年8月19日	2019年8月20日～ 2019年9月18日
費用控除後の配当等収益額	722,816円	437,131円	397,494円	669,065円	431,617円	632,225円
費用控除後・繰越大損金補填後の有価証券売買等損益額	－円	－円	－円	－円	－円	－円
収益調整金額	41,421,984円	41,871,796円	42,137,476円	43,522,773円	43,882,703円	43,846,446円
分配準備積立金額	59,161,068円	59,332,363円	59,154,400円	58,968,859円	58,816,027円	58,540,073円
当ファンドの分配対象収益額	101,305,868円	101,641,290円	101,689,370円	103,160,697円	103,130,347円	103,018,744円
1万口当たり収益分配対象額	3,731円	3,732円	3,732円	3,741円	3,742円	3,750円
1万口当たり分配金額	15円	15円	15円	15円	15円	15円
収益分配金金額	407,240円	408,462円	408,694円	413,565円	413,360円	412,027円

## ○分配金のお知らせ

	第84期	第85期	第86期	第87期	第88期	第89期
1 万口当たり分配金 (税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。

## ◆課税上の取り扱い

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%）の税率で源泉徴収（申告不要）されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。

※法人受益者に対する課税は異なります。

※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。

※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。

\*三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) をご覧ください。

# オーストラリア債券マザーファンド

## 《第7期》決算日2019年3月18日

[計算期間：2018年3月20日～2019年3月18日]

「オーストラリア債券マザーファンド」は、3月18日に第7期の決算を行いました。  
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第7期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	豪ドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行います。投資にあたっては、オーストラリアの国債、政府機関債、州政府債、政府保証債ならびに豪ドル建ての国際機関債等に投資を行います。金利や物価の動向、経済情勢や投資環境等を勘案してポートフォリオを構築します。デュレーション調整等のため、債券先物取引等を利用する場合があります。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。市況動向および資金動向等により、上記のような運用が行えない場合があります。
主要運用対象	豪ドル建ての債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

### ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		(参考指数) FTSE世界国債 インデックス オーストラリア (円ベース)		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落	中 率	期 騰 落	中 率			
	円	%		%	%	%	百万円
3期(2015年3月18日)	13,233	13.3	661.23	12.1	93.4	—	275
4期(2016年3月18日)	12,451	△ 5.9	621.82	△ 6.0	97.8	—	260
5期(2017年3月21日)	12,860	3.3	643.32	3.5	97.3	—	268
6期(2018年3月19日)	12,558	△ 2.3	628.93	△ 2.2	96.0	—	273
7期(2019年3月18日)	13,002	3.5	651.01	3.5	97.7	—	293

(注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 参考指数は、FTSE世界国債インデックス オーストラリア (円ベース) です。

各国の国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、各国国債の総合収益率を指数化した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

(注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		( 参 考 指 数 ) F T S E 世 界 国 債 インデックス オーストラリア		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
	円	騰 落 率	(円ベース)	騰 落 率		
(期首) 2018年3月19日	12,558	—	628.93	—	96.0	—
3月末	12,595	0.3	628.10	△0.1	96.5	—
4月末	12,588	0.2	628.37	△0.1	97.2	—
5月末	12,730	1.4	635.76	1.1	96.7	—
6月末	12,603	0.4	629.42	0.1	96.5	—
7月末	12,773	1.7	638.69	1.6	97.8	—
8月末	12,607	0.4	634.48	0.9	96.2	—
9月末	12,744	1.5	636.53	1.2	96.5	—
10月末	12,614	0.4	629.94	0.2	96.3	—
11月末	13,053	3.9	651.07	3.5	97.6	—
12月末	12,490	△0.5	621.97	△1.1	95.4	—
2019年1月末	12,743	1.5	636.66	1.2	98.0	—
2月末	12,956	3.2	647.27	2.9	97.9	—
(期末) 2019年3月18日	13,002	3.5	651.01	3.5	97.7	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

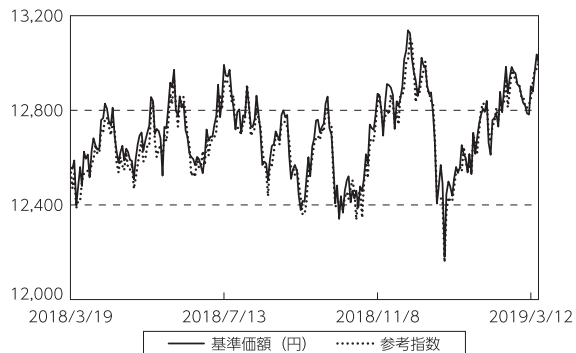
## ○運用経過

## ●当期中の基準価額等の推移について

## ◎基準価額の動き

基準価額は期首に比べ3.5%の上昇となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

## ●投資環境について

## ◎債券市況

・豪州金利は低下しました。期首から2018年11月にかけては、労働市場が堅調に推移する一方、インフレは抑制されていたことなどから、豪州連邦準備銀行（RBA）は当面政策金利を据え置くとの見方が広がり、豪州金利はもみ合う展開となりました。その後、世界経済の減速などを背景にRBAが今後の成長率・インフレ見通しを引き下げ、金融政策の引き締めバイアスを中立的に変更したことなどから、豪州金利は低下しました。

## ◎為替市況

・豪ドルは対円で下落しました。期首から2018年12月中旬にかけては、RBAが政策金利を据え置く中、豪ドルは対円でみ合いながらもほぼ横ばいで推移しましたが、2019年年初にかけて株式市場や原油価格の下落などにより投資家の



リスクセンチメントが悪化し、豪ドルは対円で下落しました。その後、株式市場が上昇に転じる中、リスクセンチメントが改善したことなどから、豪ドルは対円で上昇に転じたものの、期を通じてみると、豪ドルは対円で下落して終えました。

#### ●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・豪ドル建ての債券に投資を行い、主として利子収益の確保をめざして運用を行い、期を通じて、債券現物の組入比率は高位を維持しました。
- ・州政府債や国際機関債を一部組入れたものの、流動性などを勘案し、引き続き国債中心のポートフォリオを維持しました。
- ・ファンド全体のデュレーション（平均回収期間や金利感応度）は、利上げ観測が高まり豪州金利が上昇した2018年4月末に、RBAが当面政策金利を据え置くとの見通しの下、参考指数比長めに変更しました。5月中旬に米国長期金利上昇の影響などから一時的に参考指数比短めとしましたが、5月下旬にイタリアの政治的懸念の高まりなどを背景に中立に変更しました。その後は市場の政策金利の織り込み具合を注視しながら、中立を基本に機動的に操作しました。
- ・前記の運用の結果、豪ドルが対円で下落したことなどがマイナス要因となったものの、豪州金利が低下したことや債券の利子収益を享受したことなどがプラス要因となり、基準価額は上昇しました。

#### ○今後の運用方針

##### ◎運用環境の見通し

- ・当面の豪州金利は低下余地を探る展開を想定します。国内の物価動向が引き続きRBAのインフレターゲット（年2－3％）の下限近辺で推移していることに加え、家計の債務比率が高水準にあるため、RBAは国内消費動向・世界経済の下振れリスクなどを慎重に見極めていくものと考えます。
- ・為替については、軟調な住宅市場などを背景に国内経済の下振れリスクが意識されやすい中、豪ドルは対円で上値の重い展開を想定します。

##### ◎今後の運用方針

###### （組入比率）

- ・安定した利子収益の確保をめざし、引き続き高位組み入れを維持する方針です。

###### （種別構成）

- ・当面は国債中心の運用とする方針です。

###### （デュレーション）

- ・豪州の今後の金融政策、グローバルな景気動向などを睨みながら、機動的に操作する方針です。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年3月20日～2019年3月18日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 12	% 0.093	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(11)	(0.090)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（ そ の 他 ）	( 0 )	(0.004)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	12	0.093	
期中の平均基準価額は、12,706円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○売買及び取引の状況

(2018年3月20日～2019年3月18日)

## 公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	オーストラリア		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル
		国債証券	3,578	3,566
		特殊債券	279	—

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

## ○利害関係人との取引状況等

(2018年3月20日～2019年3月18日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年3月18日現在)

## 外国公社債

## (A)外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
オーストラリア	千オーストラリアドル 3,260	千オーストラリアドル 3,625	千円 286,676	% 97.7	% —	% 66.7	% 15.1	% 15.9
合 計	3,260	3,625	286,676	97.7	—	66.7	15.1	15.9

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## (B)外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄		当 期 末					償還年月日
		利 率	額面金額	評 価 額			
				外貨建金額	邦貨換算金額		
オーストラリア		%	千オーストラリアドル	千オーストラリアドル	千円		
国債証券	1.75 AUST GOVT 201121	1.75	590	591	46,773	2020/11/21	
	2 AUST GOVT 211221	2.0	250	253	20,013	2021/12/21	
	2.75 AUST GOVT 240421	2.75	140	147	11,685	2024/4/21	
	3 AUST GOVT 470321	3.0	160	172	13,657	2047/3/21	
	3.25 AUST GOVT 290421	3.25	320	356	28,226	2029/4/21	
	3.75 AUST GOVT 370421	3.75	150	181	14,324	2037/4/21	
	4.25 AUST GOVT 260421	4.25	270	313	24,828	2026/4/21	
	4.5 AUST GOVT 330421	4.5	310	399	31,558	2033/4/21	
	4.75 AUST GOVT 270421	4.75	220	267	21,151	2027/4/21	
5.75 AUST GOVT 220715	5.75	270	306	24,258	2022/7/15		
特殊債券	2.75 QUEENSLAND 270820	2.75	100	102	8,132	2027/8/20	
	3.25 QUEENSLAND 280721	3.25	180	191	15,155	2028/7/21	
	4.75 INTER-AMERIC 240827	4.75	300	340	26,909	2024/8/27	
合 計					286,676		

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

## ○投資信託財産の構成

(2019年3月18日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 286,676	% 97.7
コール・ローン等、その他	6,653	2.3
投資信託財産総額	293,329	100.0

(注) 期末における外貨建純資産 (290,938千円) の投資信託財産総額 (293,329千円) に対する比率は99.2%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 オーストラリアドル=79.08円		
--------------------	--	--

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年3月18日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	294,910,533 円
コール・ローン等	3,970,809
公社債(評価額)	286,676,562
未収入金	1,581,200
未収利息	2,530,619
前払費用	151,343
(B) 負債	1,595,913
未払金	1,581,000
未払解約金	14,910
未払利息	3
(C) 純資産総額(A-B)	293,314,620
元本	225,592,777
次期繰越損益金	67,721,843
(D) 受益権総口数	225,592,777口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,002円

## &lt;注記事項&gt;

- ①期首元本額 217,683,391円  
 期中追加設定元本額 21,399,581円  
 期中一部解約元本額 13,490,195円  
 また、1口当たり純資産額は、期末13,002円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

N a v i o オーストラリア債券ファンド 225,592,777円

## ○損益の状況 (2018年3月20日~2019年3月18日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	9,233,582 円
受取利息	9,234,726
支払利息	△ 1,144
(B) 有価証券売買損益	1,313,031
売買益	11,443,531
売買損	△10,130,500
(C) 保管費用等	△ 260,815
(D) 当期損益金(A+B+C)	10,285,798
(E) 前期繰越損益金	55,685,230
(F) 追加信託差損益金	5,585,119
(G) 解約差損益金	△ 3,834,304
(H) 計(D+E+F+G)	67,721,843
次期繰越損益金(H)	67,721,843

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。  
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。  
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。